

**製品名: RUNX1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21144**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:49kD;Observed MW:43-55kD

**抗原情報**

遺伝子名	RUNX1
別名	RUNX1;AML1;CBFA2;Runt-related transcription factor 1;Acute myeloid leukemia 1 protein;Core-binding factor subunit alpha-2;CBF-alpha-2;Oncogene AML-1;Polyomavirus enhancer-binding protein 2 alpha B subunit;PEA2-alpha B;PEBP2-alpha
遺伝子 ID	861.0
SwissProt ID	Q01196
免疫原	ヒト RUNX1/2/3 の合成ペプチド

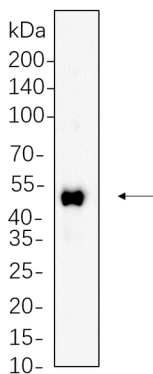
## 背景

細胞局在: 核。コア結合因子 (CBF) は、多くのエンハンサーおよびプロモーターのコアエレメントに結合するヘテロ二量体転写因子です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は CBF の  $\alpha$  サブユニットを構成し、正常な造血の発生に関与していると考えられています。この遺伝子に関連する染色体転座は十分に報告されており、いくつかの種類白血病と関連付けられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



C6 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を RUNX1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッキングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。